



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

2016年1月

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
T.064-0811
011(561)5217

EMC/MC (Maintenance, Conservation)

— 主 題 —

国際会長	「信念のあるミッション」
アジア会長	「愛を持って奉仕しよう」
東日本区理事	「原点に立って、未来へステップ」
北海道部部长	「地元愛」
札幌クラブ会長	「YMCA と共に」

Wichian Boonmaporjorn(タイ)
Edward K. Ong (シンガポール)
渡辺 隆 (甲府)
伏木 康 (札幌)
宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長	宮崎 善昭
副会長	八田 信之
書 記	中田 千鶴
会 計	秋葉 聡志
直前会長	伏木 康

今月の聖句

求めなさい。そうすれば与えられます。
マタイによる福音書 7章7節
(中田千鶴選)



巻頭言

コミュニケーション

会長 宮崎 善昭



あけましておめでとうございます。昨年の今頃を思い出していると会議や研修会や行事やらで目まぐるしく過ごしていました。そこへいくと今年のはのんびりしているはずですが、昨年末までに読破しようと思っていたC・バルトの「ローマ書講解下巻」が1/3ほどで挫折したままになっていて読んだり、ステップⅢ研修の講義が1/4年ほどをしたり、学生YMCA発題準備をしたりと結構ドタバタしているのは、きっと貧乏性の所為なのでしょう。

現役の時に買った本を読み直してみても理解の仕方が違っていたりして今更の様に興味が湧いてくるものもあつたりします。筆者の文字言語による内面の表現が正確に伝わるのははなはだ困難なことで、コミュニケーションと言うものは、圧倒的に発信側(話し手、筆者)の事柄でなく受信側(聞き手、読者)の事柄であることが実感されました。「実際に大きな音がしてもだれも聞いていなければ音はしていないのと同じである。」と言った人がいましたが正にその通りです。

今日の組織においてリーダーの役割は、組織構成員の協働意思と組織目的あるいは目標を如何に結び付けてダイナミックな人間行動としていくことができるかという能力であると言われてしています。そのための枠組み(ハード)としてのシステムの構築と共にコミュニ

ケーション能力(ソフト)の向上が期待されるのです。

今日の組織においてリーダーの役割は、組織構成員の協働意思と組織目的あるいは目標を如何に結び付けてダイナミックな人間行動としていくことができるかという能力であると言われてしています。そのための枠組み(ハード)としてのシステムの構築と共にコミュニケーション能力(ソフト)の向上が期待されるのです。

正にリーダーはコミュニケーションセンターであるといっても過言ではありませんが、実際コミュニケーション能力を生来持つ人は0.25%と言われてしています。つまり400人に一人の割合ですから我々はこの能力者の部類に入らない、つまり能力をつけるためのトレーニングや方法論を身につける必要があるということです。そしてコミュニケーションの最も大切なことは人間関係が良好なことです。なぜなら関係良好な人の話は誰も関心をもって聞くからです。如何に伝えるべき内容に関心を持ってもらうかが「要」と言うことができると思います。しかし、伝達の内容はともかくも「声がでかいこと」も関心を持たれることの一つの要素と言われてしますのでこの点だけでも私はクリアしていると感じ少々ホッとしているところです。

今年も楽しいクラブ運営をしたいと考えています。よろしくお祈りします。

札幌クラブ・札幌北クラブ

日時：2016年1月11日(祝)
会場：KKRホテル札幌
中央区北4条西5丁目
会費：3,500円

新春合同例

2015年12月例会	在籍会員 11名	例会出席 10名	メネット 0名	メーキアツプ 1名
出席報告	ゲスト 4名	ビジター 0名	出席者合計 14名	出席率 100%

12月例会卓話

第28回ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム報告

第28回

ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム

谷内 直弥 (T-Boy)

蝦名 優希 (カニちゃん)



日 時： 2015年9月11日(金)～13日(日)

場 所： 東京 YMCA 山中湖センター

参加者： ◆ユースボランティアリーダー 34名

◆グループカウンセラー 3名

◆YMCA スタッフ 3名

◆ワイズメン 34名 計 77名

9月11日14時、バスで東京駅を出発。17時、山中湖に到着。夕食後、17時30分から基調講演。講師は東京ワイズメンズクラブ会員の篠田秀樹さん。テーマは「今、リーダーに求められていること」でした。

篠田さんご自身の経験から、◆メンバーとして、◆リーダーとして、◆メンバーの保護者として、の3つの目線から貴重な提言でした。

保護者の気持ち、目線からリーダーに求めるもの：

◆活動を通して、自分の子供の良い面、普段とは違う一面を引き出して欲しい。また、礼儀作法や挨拶などをできるようになって欲しい。◆パーソナルレコード(自分の子供の活動中の記録)が楽しみ

求められるリーダーになるためには、

◆リーダーとしての技術(スキーやキャンプなど)を向上させ、メンバーの安全を第一に考えることが求められる。◆技術が向上することによって、自分に自信がつく。◆リーダーとしてのアピールポイントを作ることが出来、独自性のあるリーダーがうまれる。

篠田さんの基調講演を聞いての感想：

カニちゃんの感想：

プログラムを考える際に、子どもや保護者の視点に立ってプログラムを考えることを今まで以上に重視することが必要だと感じました。

T-boyくんの感想：

基調講演で語られた「メンバーやその保護者が何を求めて通って(通わせて)いるのか?」といった今まで自分が意識していなかったことを学ぶことができた。

グループ討議：

基調講演をもとにグループごとに討議を行いました。3日目の「まとめ」の時間に各グループのとうぎ結果を発表しました。

Tボーイのグループが考えたこと：

1. メンバーの心の支えであること： メンバーの「お兄さんお姉さん」として、メンバーが心の面で頼ること

とのできるリーダーが必要である。

2. メンバーの気持ちに対して、共感できる力

メンバーの話したことに対してリーダーが共感すると、リーダーに対しての信頼感が増す。

3. **カッコいいリーダーになる**

メンバーができない技術を持っているとカッコよく見える。自分がメンバーだったらカッコいいリーダーを求める。

ではどうすればカッコいいリーダーになれるか！

◆先輩リーダーやスタッフに様子などを聞いてみたり、リーダートレーニングや実際の活動に出て技術を身につける。

◆たとえ、自信がなくても、メンバーの前では堂々と自信ありげに振舞うことが大事である。

カニちゃんグループが考えたこと：

1. 子どもが活動に求めているのは「笑顔」です。

では、どんな時に子どもたちは笑顔になるのか？

◆褒められたとき：①しっかりと子供の様子をみたり、発言を聞いて、子供の良い面を探してあげる。②具体的に大げさに褒める。プログラム外のことも含め、広い視野で褒める。

◆できたとき：①手伝い過ぎない。②対象に合わせ、適切な課題を与える。③目標を設定する。

フォーラムに参加して！ T-boy

今回フォーラムに参加したことで、YMCAのリーダーとしての新しい考え方を得ることが出来ました。それに加えて、他の地域のリーダーたちと知らないゲームを互いに教え合ったり、メンバーに対しての上手な関わり方や、体験談などのたくさんの情報を交換できたことができました。3日間を通して多くのことを学ぶ機会となりました。そして、リーダーとしての経験はまだまだ浅いですが、これからも様々なことに挑戦してみたいと思うことが出来たフォーラムとなりました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

フォーラムに参加して！ カニちゃん

基調講演の内容からメンバーの目線で考えることの必要を感じました。なので、基調講演以降のプログラムにはメンバーの立場で臨んでみました。すると、メンバーの気持ちを感じることができ、グループディスカッションでも子どもが求めるが何なのかをメンバー目線で考えることができました。今後もメンバー目線を忘れずに活動していきたいと思えます。貴重な経験をさせていただき感謝いたします。

最後に カニちゃん&T-boy

今回の経験で得たことは、リーダー会でシェアし、今後の活動にかかしていきたいと考えています。

◆プログラムの立て方を、子どもや保護者目線で考えられているか、見直します。

◆子どもはもちろん、保護者との関わりも増やします。(電話がけ、活動の前後などで)

◆フォーラムで得た知識や考え方を札幌のリーダーと共有し、新たな活動や、考えを生み出す。

★ ★ ★ ★ ★

ワイズメンの皆さま。ユースの活動にご支援いただき、ありがとうございました。

第46回全国リーダー研修会報告

中原 綾乃(やのりん)

9月19日～22日、御岳日和田高原キャンプ場で開催された「第46回リーダー研修会」が開かれました。

研修会のテーマは「種をまこう・どえりゃー花さかせやーよ」という名古屋弁でした。

多くを学びました！

第1部では日本キャンプ協会名誉理事の酒井哲郎さんが『なぜ子どもたちとキャンプをする？』という題で、キャンプでは、人が変わる場面に立ちあえる、自分とは異なる人と関わるができる、今まで顕在化していなかった問題に気付くことができる、とYMCAキャンプの魅力を熱く語られました。

第2部では愛知県キャンプ協会理事長の藤井三弥子さんが『人と接するということ』という題で、リーダーは、前向き、明るく元気、失敗を恐れずにチャレンジができて、チームワークができる、思いやりがある、笑顔が素敵でなければならないと語られました。また、活動する前に5W1Hの6項目についてきちんと検討しておくことと効率的に不備と無駄を発見し、改善・解決することが出来ることを教えられました。

プログラムを通して！

2日目の午後は、選択プログラムでした。◆溪流ハイク、◆野外炊飯、◆ツリーハウス作り、◆ネイチャークラフト、◆川遊び場づくりの5種類のプログラムから1つ選んで参加します。

私はツリーハウス作りを選択しました。釘などは一切使わず、のこぎりもほとんど使わないで、ある木材を使って、ロープだけを使い、ツリーハウスを組み立てました。

2日目の夜に種目別ディスカッションを行いました。◆野外、◆スポーツ、◆学童、◆発達障がい児、の4グループに分かれ、「～に伝えたい～箇条」を作りました。私は野外のグループに入り、全国のYMCAボランティアリーダーに伝えたい6箇条を作成しました。

3日目の講演は、神崎清一さんによる、「YMCAのプログラムで大切にしたいこと」でした。キャンプにある多くのチャンスを生かすのがリーダーの力量だと教えられました。

全リー研では、内田友也伝道師によって、開会礼拝、閉会礼拝、夕方の礼拝が2回の計4回の礼拝が行われました。私は、静かに牧師さんの話を聞くという経験があまりありませんでし



た。しかし、全国リーダー研修会で行われた例会は、みんなで歌を歌ったり、劇をしながら、聖書のメッセージを伝えるもので、すごく新鮮でした。会場でも、たくさんの笑い声に包まれ、楽しい礼拝になりました。若い人や、聖書に興味のない人でも楽しく聖書に触れることができました。

もっと多くの仲間に伝えたい

総勢約100名のリーダーが集まった全国リーダー研修会で、多くの仲間ができました。北海道だけではなく、全国にはこんなにたくさんのリーダーがいることを実感しました。

北海道は自然が豊かであり、最近リーダーも着々と増え、他のYMCAよりも恵まれた環境で活動できていることを知りました。その反面、情熱をもって目的に向かう姿勢が足りないようにも感じました。他都府県YMCAの良いところは取り入れて、北海道の良さは伸ばしていきたいです。聖書に「人はその友によって研磨される」という言葉がありますが、全国、北海道のリーダーと積極的に関わり、意見交換し、お互い高めあうことのできる関係をこれから築いていきたいと思っています。



左から、下田スタッフ、やのりん、カニちゃん、T-Boy

札幌クラブ 12月例会 Xマス祝会

12月15日、札幌クラブの例会はユースリーダー3名、下田慶子YMCAスタッフを迎えて行われました。3名からYVLF、全国リーダー研修会についての詳細な報告、感想がありました。ユースの成長に会員一同感激し、運営して下さった関係ワイズ、YMCAスタッフのご苦労に感謝しました。

例会に引き続きクリスマス祝会が行われました。いろいろなサプライズがありました。その①アフリカのブルキナ・ファソで水利支援事業に従事していた小野会員が休暇で帰国し、空港からその足で駆けつけてくれたこと、その②中田会員が卓話をしてくれたユースのためとアイススティックを買ってきてくれたこと（もちろん会員にも）、その③大きなクリスマスケーキが運び込まれ、宮崎会長がケーキカット、その③全員がプレゼントを持ち寄ってのプレゼント交換。



上：ケーキカットする宮崎会長。左から、T-Boy、小野会員、宮崎会長、柳沼会員、中田千会員

大人のクリスマス

12月10日、札幌YMCAの「大人のクリスマス」が行われました。札幌本館でYMCA支援の活動をしている様々のグループが集まり、お互いの活動状況を報告しあい、職員手作りのご馳走を食べ、琴の演奏やさまじまの珍ゲーム楽しみました。



上：左から、工藤（北）、佐藤、柴田、伏木コメット、中田千、秋葉、藤田、伏木、高杉（北）、中田靖、宮崎

何故この聖句を 中田 千鶴

「求めよ、さらば与えられん」という文語訳のほうがいい響きです。有名な山上の垂訓の一節です。この後に「捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、開けてもらえるであろう。すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者は開けてもらえるからである。」現実の世の中では「捜しても見つからない、門をたたいても開けてもらえないことが多すぎます。でも、あきらめずに求め続けていくことが大切です。過去は変えられない。変えることができるのは自分と未来だけだからです。そんな気持ちで2016年の日々を送りたいと思います。

YMCA ニュース

担当主事 佐藤 雅一

① シンガポールスキー終了

2/17-23でシンガポールYMCAファミリースキーツアーがルスツ・札幌で行われ、33名の参加がありました。雪は十分ではありませんでしたが、日に日に技術が上達し、スキーを満喫することが出来たようです。専門学校生が中心に行った文化交流会では紙風船が大人気でした。その他にも折り紙、けん玉、福笑い等で楽しい時間を過ごしました。

札幌キリンビール園で行ったBBQパーティーでは、参加者全員に記念写真が秋葉総主事より贈られました。規定の時間を過ぎても楽しい話しに花が咲き、参加者が大きな家族になった様な良い雰囲気になっていました。

② 日本語短期留学コース

1/20-2/3で日本語短期留学コースが行われ、韓国・台湾から6名の学生が参加します。日本語の学習はもちろんですが、日本文化の体験、専門学校・大学の訪問、小樽への日帰り旅行等が予定されています。

北海道YMCAとしては初めての取り組みで、少人数での実施になりますが、今後大きく育てていきたいと考えている事業です。

③全国YMCA会議

1月は全国YMCAの会議が多数行われ、北海道YMCAからもスタッフが参加します。

◆全国YMCA日本語教育担当者会

1/21-22 北九州YMCAで行われ、藤田寛ディレクターが参加します。

◆チャリティーラン担当者会

1/26 東京の在日本韓国YMCAで行われ秋葉総主事が参加します。この会議には、チャリティーラン大会長の有森さんも参加されます。

◆東日本地区YMCAスタッフ研修会

1/27-29 東京YMCA高尾わくわくビレッジで行われ、北見ランチの小林 武さんと秋葉総主事が参加します。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。